| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和５年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「公共」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界は激動の時代に入って様々な解決困難な問題に直面し、それらへの対処が模索されています。例えば環境問題や貧困問題の解決へ向け「持続可能な開発目標」（SDGs）が国連によって策定され、その達成にむけて様々な取り組みが行われています。このように大きく変化していく社会においては，現代の課題を見出し，解決へ向けて主体的に行動する公民となることが求められます。
・「公共」の学習では，そのような主体的な公民となるために，積極的に授業に参加することが求められます。具体的には，身近な課題についての様々な視点を踏まえたうえで自らの考えを持つこと，話し合い活動や発表に積極的に取り組み，発言すること，自らの学習についてまとめ，振り返ることで，より効果的な学習を実現していくことなどです。受け身の学習ではなく，失敗を恐れず，積極性をもって学習にのぞんでください。
・必ずノートを準備してください。板書を写すだけでなく，重要なポイントや自分の考えをまとめるなど，工夫して利用しましょう。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，　及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している | 国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 第１部<br>公共の扉 | 第１章<br>社会を作る私たち<br>～大人になるってどんなこと？ | a:青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることと社会とのかかわりを理解できている。<br>b:自己形成の課題について考察できている。<br>c:自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート<br>発表 | 振り返り<br>発表<br>観察 |
| | | 第２章<br>人間としてよく生きる<br>～よく生きるってどんな生き方なのか？ | a:近世･近代･現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。<br>b:先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。<br>c:自己の生き方の選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>振り返り | 振り返り<br>観察 |
| | | 第３章<br>他者とともに生きる<br>～幸福な社会、公正な社会とは？ | a:自分たちが生きる社会の在り方，社会が様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。<br>b:自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。<br>c:自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であると自覚した行動をとることができている。 | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート<br>振り返り<br>発表 | 振り返り<br>発表<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第４章<br>民主社会の倫理<br>第５章<br>民主社会の基本原理 | a:人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。<br>b:基本的原理の理解を通じ，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。<br>c:民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている | 定期考査 | 定期考査<br>振り返り | 振り返り<br>観察 |
| | 第２部<br>よりよい社会の形成に参加する私たち<br><br>１現代の民主政治と日本国憲法 | 第１章<br>日本社会の基本原理 | a:日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。<br>b:日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。<br>c:日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。 | 定期考査<br><br>レポート | 定期考査<br>振り返り<br>レポート | 振り返り<br>レポート<br>観察 |
| | | 第２章<br>日本の政治機構と政治参加 | a:日本の政治機構の姿と，国民主権がどのように体現されているか理解できている。<br>b:選挙や裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。<br>c:・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている<br>・司法に関心を持ち，裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。 | 定期考査<br><br>レポート | 定期考査<br>振り返り<br>レポート | 振り返り<br>レポート<br>観察<br><br>振り返り<br>発表<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 第２部<br>よりよい社会の形成に参加する私たち<br><br>２現代の経済社会と国民生活 | 第１章<br>現代の経済社会 | a:市場経済と金融のメカニズムや財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている<br>b:豊かさについて自分なりに判断できている。<br>c:経済の変動を理解して合理的な消費行動をとり，今後の経済設計がきちんとたてられている。 | 定期考査<br><br>レポート | 定期考査<br>振り返り<br>レポート | 振り返り<br>観察 |
| | | 第２章<br>日本経済の特質と国民生活 | a:日本の経済や社会の課題、雇用・労働、社会保障といった私たち自身の生活が抱えている様々な問題について理解できている。<br>b:社会の変化が進むなかで、今後、諸問題が国民生活にどのような変化をもたらし、租税などの国民の負担と社会保障などの公的施策とのバランスを考察できている。<br>c:経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しを持つとともに自身の生活の設計ができている。 | 定期考査<br>定期考査 | 定期考査<br>振り返り<br>レポート<br>発表 | 振り返り<br>レポート<br>観察<br><br>振り返り<br>発表<br>観察 |
| | 第２部<br>よりよい社会の形成に参加する私たち<br><br>３国際社会と人類の課題 | 第１章<br>国際政治の動向と課題 | a:①国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。<br>②冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。<br>b:国連の現状と課題について考察できている。<br>c:世界の国際紛争に関心を持ち，それぞれの紛争の解決への筋道を追究しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>振り返り<br>発表 | 振り返り<br>発表<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | | 第２章<br>国際経済の動向と課題 | a:①貿易や外国為替相場のしくみが理解できている。<br>②戦後の国際経済の流れが理解できている。<br>③発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。<br>b:経済のグローバル化と相互依存関係の深化が日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。<br>c:格差のある国際社会で，その克服のために自らがどのようなことができるか考え，実行しようという意欲を持つことができている。 | 定期考査<br><br>レポート | 定期考査<br>振り返り<br>レポート<br>発表 | 振り返り<br>発表<br>観察 |
| | 第３部<br>持続可能な社会づくりの主体となる私たち | 社会的な課題の発見と探求、資料の収集・分析、自分の考えの説明と論述 | a:現代社会の諸問題について，探究するための資料を収集・選択し，的確に分析できている。<br>b:現代社会の諸問題の解決のために，事実を基に協働して考察，構想し、その内容をレポートや発表などによって的確に表現できている。<br>c:さまざまな課題の中で，主体的に課題を選択し，探究できている。さらに発展的に今継続して探究しようという意欲を持つことができている。 | 発表<br>レポート | 発表<br>レポート | 振り返り<br>発表<br>レポート<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度